

漁業資源・漁場調査と情報提供

安江尚孝・中地良樹・原田慈雄・土居内 龍・武田保幸（資源海洋部）

1 目的

和歌山県周辺海域における漁場環境のモニタリングを行うとともに、漁業資源の適切な保存および合理的・持続的な利用を図るための資源診断・動向予測・最適管理手法の検討に必要な基礎資料を整備する。また、調査結果をもとに、関係漁業者・団体に情報提供を行う。

2 方法

図1に示す主な調査市場において、生物情報収集調査（マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、マサバ、ゴマサバ、マアジ、マダイ、ヒラメ、トラフグ、サワラ、ムロアジ類、タチウオ、イサキ、スルメイカ、サンマ）を行うとともに、海洋観測調査（卵稚仔調査を含む）（図1）を定期的に、沖合黒潮調査およびモジヤコ調査を不定期で実施した。

3 結果及び考察

生物情報収集調査の一部を図2に示す。また、海洋観測表、黒潮沖合調査結果およびモジヤコ調査速報として公表した資料を添付した。海洋観測調査（卵稚仔調査を含む）等の結果については、独立行政法人水産総合研究センター、各都道府県水産試験場および社団法人漁業情報サービスセンターで構成するネットワークシステム（FRESCO）を用いてオンラインデータベース化を行った。生物情報収集調査のうち主要魚種（マイワシ、カタクチイワシ、ウルメイワシ、マサバ、ゴマサバ、マアジ、マダイ、ヒラメ、トラフグ、サワラ、スルメイカ、サンマ）について、その「資源評価表」が、水産庁および独立行政法人水産総合研究センターにより策定、公表された。和歌山県に関連する情報については、漁海況情報やカタクチイワシ産卵情報などを通じて関係漁業者・団体に提供した。ムロアジ類、タチウオおよびイサキについては、資源動向をとりまとめ、独立行政法人水産総合研究センターに報告した。「第43回瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁況予報会議」、「平成24年度太平洋イワシ、アジ、サバ等長期漁海況予報会議」、「平成24年度中央ブロック卵・稚仔、プランクトン調査研究担当者協議会」、および「平成24年度中央ブロック資源・海洋研究会」において、調査結果を報告した。

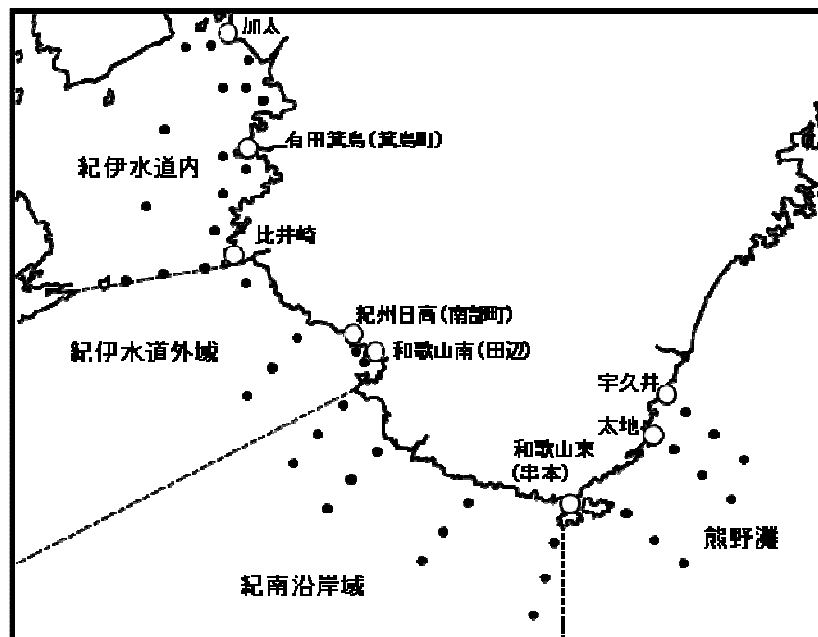
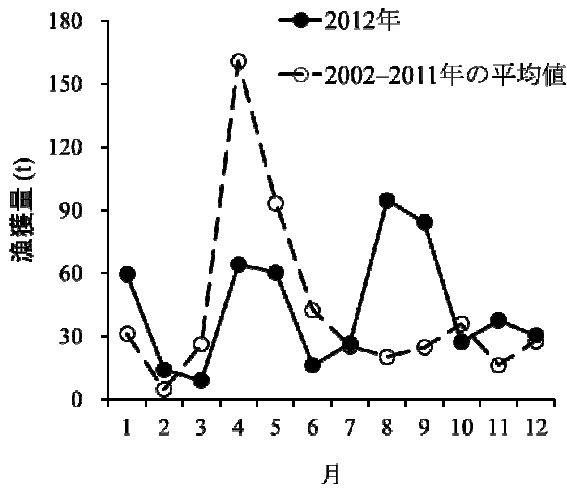
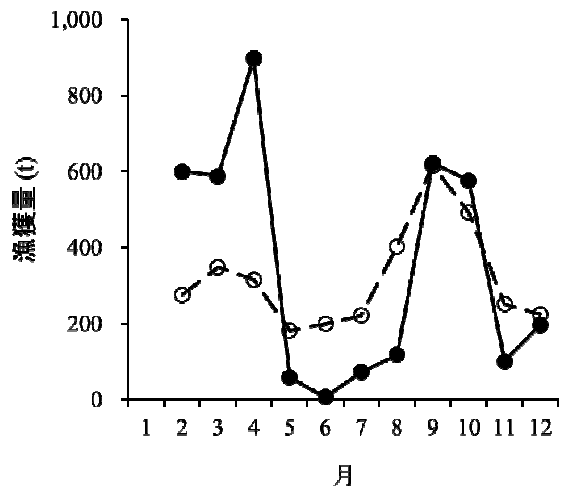


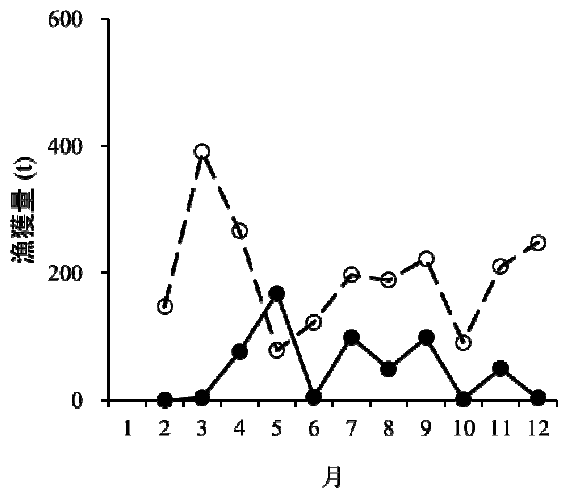
図1 主な調査市場（○）と海洋観測調査定点（●）



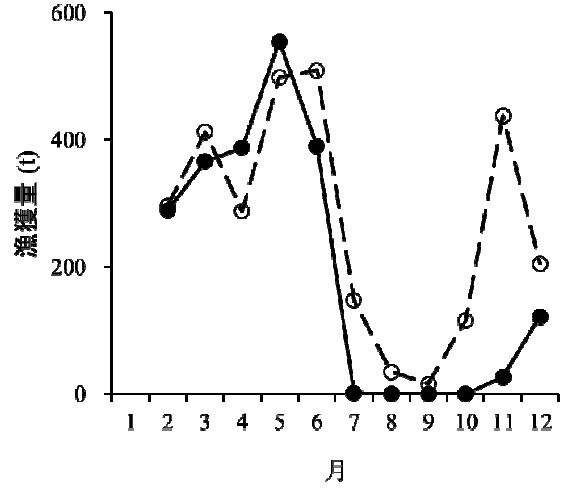
紀伊水道内標本2市場の船びき網によるシラス漁獲量



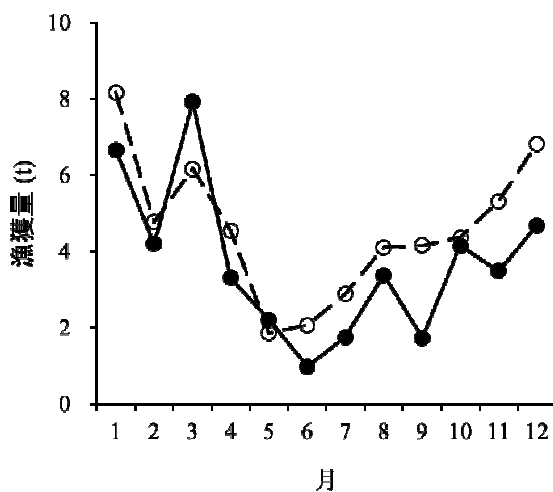
紀伊水道および紀伊水道外域標本3市場の2そうまき網によるサバ類漁獲量



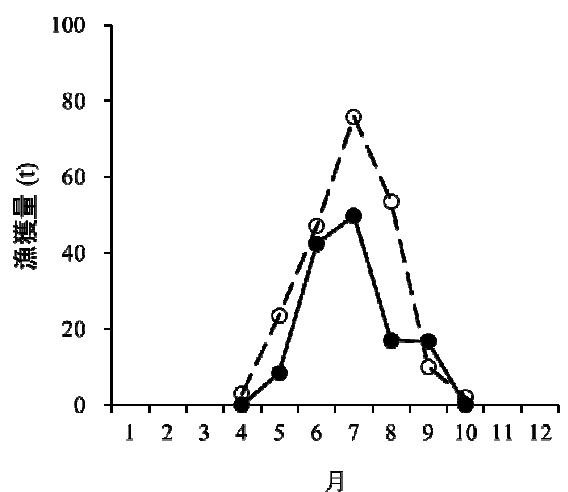
紀伊水道および紀伊水道外域標本3市場の2そうまき網によるマアジ漁獲量



紀伊水道および紀伊水道外域標本3市場の2そうまき網によるマルアジ漁獲量



紀伊水道内標本1市場の一本釣りによるマダイ漁獲量



紀伊水道外域標本1市場の棒受網によるウルメイワシ漁獲量

図2 主要魚種の月別漁獲量